

WWL 高校生国際平和会議

7月28日（金）ブリックホールにて、本校主催による「WWL 高校生国際平和会議」を開催しました。国内外の高校生が長崎に集い、SDGsを基盤とした世界課題についてパネルディスカッションを行うとともに、高校生が多言語で作成した「高校生平和共同宣言」の発表を行いました。

参加校は、国外からは、University Laboratory School（ハワイ）、Visser't Hooft Lyceum（オランダ）、NPO 法人 Beautiful World（ウクライナ）、上海市甘泉外国語中学、浙江省洪山中学、福建省培元中学（中国）、Rajini School（タイ）、長崎県外からは、南多摩中等教育学校（東京）、三島北高等学校（静岡）、国際高等学校（奈良）、追手門学院大手前高等学校（大阪）、関西創価高等学校（大阪）、六甲学院高等学校（兵庫）、舟入高等学校（広島）、沖縄尚学高等学校（沖縄）、長崎県内からは、創成館高等学校、諫早商業高等学校、大村高等学校、長崎南高等学校、長崎東高等学校の計19校、1機関です。参観者が1000名を超える大規模な国際会議となりました。

SDGsを軸に、「共生」「環境」「社会」「経済」の4部門に会議を編成し、「英語の部」と「日本語の部」でそれぞれ実施しました。核の廃絶、人種差別の撤廃、温室効果ガス削減、ジェンダー平等の実現、ディーセントワークの推進などについて協議しました。

会議出場者（パネリスト）全員がこれまで培ってきた知識と論理性を存分に発揮し、会場からの質問や意見も止むことがありませんでした。パネリストがテーマについての「問い」を提供し、それについて会場全体でともに思考し、表現する、まさに探究的な会議内容となり、参加したすべての生徒が成長する、最良の機会となりました。

「高校生平和共同宣言」の発表では、1年半、長崎東高校と広島市立舟入高校が協働し、様々な協働機関と連携して創り上げた多言語の宣言文を、生徒たちが心を込めて英語で発表しました。会場は感動の拍手に包まれました。

また、国連事務次長中満泉様の激励のメッセージや、国際医療団体 NPO 法人 Red Wood Japan 理事の信吉正治様の基調講演が行われ、高度で深い学びについて拝聴する大変貴重な機会となりました。本校 WWL 事業海外交流アドバイザーの溝田勉氏からも「国際社会に貢献できる専門性を培うための先進的なカリキュラム開発と優れたプログラム」とご講評をいただきました。

本会議は、長崎東高3、高2の実行委員約130名が準備段階から当日まで、企画や運営を中心となり実施しました。「高校生」国際平和会議の名称にふさわしい主体性ある会議となりました。



